

事業所名

児童デイサービスアニマートぱすてる

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

11日

法人（事業所）理念		楽しみながら「できること」が増える喜びを体験する。					
支援方針		事業所施設、活動内容（1日の活動の流れ）を視覚的に把握できるよう構造化をし、利用児童がスムーズに自立活動を行えるよう支援する。集団支援と個別支援の活動目標を明確にし、個別支援においては個々の課題に合わせた集中的なプログラムを行っていく。					
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・トイレの定時誘導と手洗いうがい、水分補給を基本とし、身だしなみや着替え、歯磨き、鼻をかむ等日常生活で必要になってくる動きを、デイで過ごす時間のいたるところに散りばめて自然と身につくように働きかける。また、提出物や自分の荷物の整理整頓など、『自分の事は自分でやる』をそれぞれの児童に合わせた範囲で行っていく。					
	運動・感覚	・日々の生活の中で遊びや活動を通して、体の使い方、動かし方を学ぶ。歩く、走る、片足立ち、ジャンプ、階段などの粗大運動。靴の脱ぎ履き、ボタン、靴紐、手遊び、指あそびなどの微細運動をデイで過ごしている間に自然と行い慣らしていく。また、固定遊具のあそび方や、雨の日の歩き方など特定の条件化での運動も取り入れている。微細運動は生活における動作だけではなく、創作活動を取り入れることによって児童が楽しみながら習得していく。					
	認知・行動	・一日の流れを視覚化。写真の表示や、次の行動をホワイトボードに表示し、見通しの構造化を図る。学習面では学校の宿題や、宿題のない児童にはデイで用意したプリントを、学校の進捗と児童の理解度に応じて提供する。学習プリントは学校での様子や保護者の要望をヒアリングしながら内容を決定していく。					
	言語コミュニケーション	・発信する力を日々の生活の中で身につけていく。発話にチャレンジする他、発話以外でもサイン、筆談、絵カードやクレーンなどの非言語コミュニケーションを積極的に取り入れている。自分の気持ちや思いを他者に伝える習慣をつけるとともに、伝わることの嬉しさを積み重ねていく。 ・フラッシュカードを用いたトレーニングを行っている。					
	人間関係社会性	・遊びや活動を通して、ルールや声の大きさ、他者との距離感を学び、自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちを汲む心を育てる。また、外出レクではバスや電車の乗り方、お買い物や公共の場での行動などを身につけていく。					
家族支援		・送迎時に家族とコミュニケーションを図り、困りごとがあった際にはいつでも相談いただける体制を取る。モニタリング時だけでなく、必要な時は面談の場を設け必要な支援を行う。ペアレントプログラムの実施。			移行支援		・進級、進学に際して学校の担任の先生との申し送りや情報共有を行う。
地域支援・地域連携		・公園にて地域の子どもたち、地域の方との交流 ・相談支援員との情報交換。 ・学校や他デイとの情報共有などによる関係機関連携。			職員の質の向上		・社内外の研修会の参加。資格取得の奨励。自己評価と本部評価による、主観と客観での現状把握。支援方法などを学び合う姉妹店交流。
主な行事等		・初詣、節分、夏祭り、ハロウィン、クリスマス等、季節に合わせたイベントを企画。ほかにも月々のお誕生日会や、火災や地震を想定した避難訓練も取り入れている。 ・重要事項説明書やHPにも記載。					